

オ あいさつ運動

3 実 践

実践として、校種別の演習の概要と高等学校の具体的実践例を紹介する。

(1) 実践の概要

校種別に実践した演習の概要は、以下のとおりであった。(資料4〈小学校〉, 資料5〈中学校〉, 資料6〈高等学校〉)

事前に担任との打ち合わせを行い、指導援助案の中に教師の働きかけを明示して実践にあたった。

校種別には、特に次のような点を工夫した。

① 小 学 校

- 演習が遊びに終わらないように、演習を始める前に、きちんとねらいを意識づけるようにした。
- 動きを伴う演習では、その学年の発達段階に応じてスムーズに活動できるように配慮した。(資料4の留意点参照)
- 順応の児童へ目を向けた指導援助を工夫し、効果的な演習が行えるようにした。(資料4の順応への手だて参照)

② 中 学 校

- 本音を出しやすい雰囲気づくりを行うため、第1回目に身体を使った演習を実施し、その後、徐々に感情や気持ちを表現できる内容に配列した。
- 演習中は、できるだけ指示・命令的な言葉や口調を避け、生徒が主体性を発揮し、自己主張できるよう努めた。
- 生徒の発表に対しては、全てを肯定的に受けとめ、特に少人数の考えを大切に扱うようにした。
- 演習前後の変容を見るために、意図的に抽出生徒を指名し、できるだけ順応生徒を生かした。

(2) 実践例

実践例として、高等学校の本年度最後に実施した「アサーション入門」を紹介する。(資料7)がその指導援助案である。

演習にあたっては、「指導援助の記録」(資料8)を活用しながら、担任と協議して進めた。工夫した

点を事前、演習中、事後の各段階に分けてまとめてみる。

① 事前の段階

- ◎ 「指導援助の記録」の2〈特に工夫・改善した点〉に沿って、「ねらい」などを順応の生徒を念頭に作成した。
- ◎ 指導援助案は、担任の経験が浅いので留意点を※印で表した。
- ◎ 記入用紙(資料9)の質問項目の作成については、HR運営委員の生徒(順応の生徒も含む)を入れて話し合って決定した。

(資料9)「アサーション入門」の記入用紙

1. どの季節が一番好きですか。
ア. 春 イ. 夏 ウ. 秋 エ. 冬
2. 百万円もらったらどうしますか。
ア. みんなで使う イ. 一人で使う
ウ. 貯金する エ. 寄付する
3. どんな人と結婚したいですか。
ア. かわいい人 イ. 明るい人
ウ. 美人な人 エ. やさしい人
4. どれを改善したいですか。
ア. 顔 イ. 頭脳 ウ. スタイル エ. 性格
(後 略)



② 演習中

演習中は、「指導援助の記録」の3〈抽出者の様子〉の欄を活用した。これは、適応、順応、不適応の各グループから2~3名を抽出し、特に順応の生徒を中心に観察記録するものである。